

電讃世界

VIRTUALBox で
コピペができないときの対処法
【完全ガイド】

電子計算組織研究会

機関紙第 5 号

-目次-

P2. VirtualBox でコピペができないときの対
処法 【完全ガイド】

💡 VirtualBox でコピペができないときの対処法【完全ガイド】

こんにちは！

今日は VirtualBox を使っていて「あれ？ コピー＆ペースト（コピペ）が効かない！」という現象に遭遇したときの対処法を、超わかりやすく解説していきます！

ということである程度 PC でモノづくりをしている人向けの内容となるかもしれません、お付き合いいただけすると幸いです～



🤔 よくある症状

- ホスト（Windows など）からゲスト（Linux など）にコピーできない
- ゲスト → ホストにも貼り付けできない
- ドラッグ＆ドロップも効かない
- 画面の解像度変更もできない

……実はこれ、VirtualBox の設定と「Guest Additions」導入がカギなんです！

Step 1. まずは VirtualBox の設定を見直そう

まず確認すべきはここ！

設定をいじる前に仮想マシンを完全にシャットダウンしてください（スリープ・保存ではダメです⚠️）。

◆ 設定手順

1. VirtualBox を開く
2. 該当 VM を右クリック → 「設定」
3. 「一般 → 詳細」タブを開く
4. 下記のように変更します👉

設定項目	設定内容
クリップボードの共有	双方向
ドラッグ&ドロップの共有	双方向（任意）

💡 これを忘れると、どんなに頑張ってもコピペできません…！

設定が終わったら一旦閉じて OK です。

Step 2. Guest Additions を入れよう！

次にやるべきはこれ。

Guest Additions（ゲスト追加機能）を入れて、VirtualBox の機能をフル解放しましょう！

Guest Additions って何？

簡単に言うと「VirtualBox を便利にする追加パック」です。

これを入れると、

- コピペ
- ドラッグ&ドロップ
- 画面の自動リサイズ

などが全部使えるようになります。



💡 Ubuntu / Debian 系の場合

ターミナルを開いて以下を実行👉

```
sudo apt update
```

```
sudo apt install build-essential dkms linux-headers-$uname -r)
```

その後、VirtualBox の上部メニューから：

デバイス → Guest Additions CD イメージの挿入

CD がマウントされたら以下のコマンドを実行：

```
sudo mount /dev/cdrom /mnt
```

```
cd /mnt
```

```
sudo ./VBoxLinuxAdditions.run
```

完了したら再起動！

```
sudo reboot
```

🌟 再起動後、もうコピペができるようになっているかも！



✳️ Arch Linux 系の場合

Arch ユーザーの方はシンプルです！

たったこれだけで OK👉

```
sudo pacman -S virtualbox-guest-utils
```

```
sudo systemctl enable vboxservice --now
```

```
sudo reboot
```

⚙️ Step 3. VBoxClient を有効化！

ここまでやってもまだ動かない場合、裏方の **VBoxClient** が動いていない可能性があります。

VBoxClient とは？

「実際にコピペを制御している小さなプログラム」です。

つまり、これが動いてないとコピペが効きません。

◆ 手動で動かす

ターミナルで以下を実行：

```
VBoxClient --clipboard
```

```
VBoxClient --draganddrop
```

これで一時的に機能が ON になります。

うまくいけば即コピペできるようになります！

◆ 自動起動させたい人はこちら

◆ GNOME の場合

```
mkdir -p ~/.config/autostart
```

```
cat <<EOF > ~/.config/autostart/vboxclient.desktop
```

```
[Desktop Entry]
```

```
Type=Application
```

```
Exec=VBoxClient-all
```

```
Hidden=false
```

```
NoDisplay=false
```

```
X-GNOME-Autostart-enabled=true
```

```
Name=VBoxClient
```

```
Comment=Start VirtualBox Guest Additions features
```

```
EOF
```

◆ Xfce / Openbox / i3 の場合

```
echo 'VBoxClient-all &' >> ~/.xprofile
```

```
chmod +x ~/.xprofile
```

これで次回ログイン時から自動的に起動します

Step 4. Wayland 環境の注意点

Ubuntu 22.04 以降などでよくあるのが「Wayland セッション」です。

これが実は、VirtualBox のコピペ機能とちょっと相性が悪いんです。

対策

1. ログイン画面で「歯車」マークをクリック
2. 「GNOME on X11」を選んでログイン
3. ターミナルで以下を確認：

```
echo $XDG_SESSION_TYPE
```

→ x11 と出ていれば OK !

(これで VirtualBox のコピペが安定します)

Step 5. Extension Pack の導入（ホスト側）

ホスト PC に「Extension Pack」を入れておくと、

USB・ネットワーク・ドラッグ＆ドロップなどの機能も強化されます。

手順

1. 公式サイトから Extension Pack をダウンロード
 <https://www.virtualbox.org/wiki/Downloads>
2. VirtualBox マネージャー → 「ファイル」 → 「環境設定」 → 「拡張機能」 → 「追加」

これで完璧です

⌚ ブラウジングまとめ

問題 対処法

VBoxClient が見つからない virtualbox-guest-utils を再インストール

コピペが一方向だけできる VirtualBox 設定の「双向」を再確認

D&D が動かない Guest Additions または Extension Pack を更新

Wayland で動かない X11 セッションでログインし直す

■ まとめ

チェック項目 やること

VirtualBox 設定 「一般 → 詳細」で双方向設定

Guest Additions ISO またはパッケージから導入

VBoxClient 起動または自動起動設定

X11 で動作中か \$XDG_SESSION_TYPE が x11

Extension Pack 公式からインストール

❀ おわりに

VirtualBox のコピペ問題、地味だけどストレスたまりますよね 🙁

でも設定と追加ツールを入れるだけで、一瞬で快適環境に変わります！

特に開発や検証で仮想マシンを使っている方は、ぜひこの設定をマスターしておきましょう。

一度やっておけば、次の VM でも秒で設定できます 👍

-発行理念-

部の活動を通じて得た多くの知識を、もっとたくさんの人々に知ってもらいたい。

そして、ソフトウェアやハードウェアをはじめとする私たちの活動分野に、

多くの人が興味を持つきっかけになってほしい。

また、すでにその分野を知っている人にとっても、さらに深く踏み込むための手がかりとなることを願っている。

本誌が様々な分野の記事を掲載するのは、幅広い知識を得て初めて見えてくるものがあると信じているからである。

このような理念のもと、私たちは機関誌『電腦世界』を発行している。

電腦世界

第5号

発 行 大阪電気通信大学 電子計算組織計算研究会

発行日 2025年10月12日

連絡先 edpsmails@gmail.com

Twitter @OECU_EDPS

bj.desc)
 .perf(Pc=1.1, eps=2.3, MR=1.45);
 c, Cstar, Tc, MW, gamma = ceaObj.get_ivacCstrTc_ChmmWGM
 (%.5.1f %.8.1f %.6.1f %.8.1f %.8.1f %.8.1f %.8.4f %.1f)
 (Pc, eps, MR, ispVac, Cstar, Tc, MW, gamma)
 (MPa) AreaRatio O/F ispVac(sec) Cstar'
 in np.arange(1, 2, 0.1):
 w_perf(Pc=1.1, eps=2.3, MR=MR)
 load = 30.0 # [kg]
 = 350.0 # [kg]
 propellant = 800.0 # [kg]
 = 0.90 # isp efficiency
 al = Wstg + Wpropellant + Wpayload
 al = Winit - Wpropellant
 show_deltaV(Pc=1.1, eps=2.3, MR=1.45);
 ispVacTheoretical = ceaObj.get_isp(Pc=Pc,
 ispVacMeasured = effisp * ispVacTheoretical
 ispSL, mode = ceaObj.estimate_Ambient
 ispSLMeasured = effisp * ispSL
 deltaV = 9.80665 * ispVacMeasured * np.
 print(%.5.1f %.8.1f %.7.2f %.8.1f %.8.1f
 # print(mode)
 print()
 print('Pc(MPa) AreaRatio O/F ispVac(s) isp
 for eps in np.arange(1, 4, 0.5):
 show_deltaV(Pc=1.1, eps=eps)



I WANT YOU FOR EDPS

Room 201, Building O, Neyagawa Campus

